

NEWS RELEASE



【報道関係各位】

2017年4月12日
一般財団法人 日本気象協会

2017年桜開花予想(第8回)

～桜前線は東北南部へ到達 今週末には東北北部へ～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川 裕己、以下「日本気象協会」）は、2017年4月12日（水）に日本全国89地点の桜（ソメイヨシノほか）の開花予想（第8回）を発表します。

また、昨年に引き続き、「日本三大桜」と呼ばれている福島県の「三春滝桜」（みはるたきざくら：ベニシダレザクラ）、山梨県の「山高神代桜」（やまたかじんだいざくら：エドヒガンザクラ）、岐阜県の「根尾谷 淡墨桜」（ねおだに うすずみざくら：エドヒガンザクラ）の開花予想も発表します。さらに、今年には北海道の「新ひだか町」を新たに予想地点として加えています。

開花予想は日本気象協会のコーポレートサイト(<http://www.jwa.or.jp/>)や天気予報専門メディア『tenki.jp（てんきじえーびー）』(<https://tenki.jp/sakura/expectation/>)にて無料で公開します。

(1) 概況

先週、金曜日から週末にかけて、全国的に雨が降りましたが気温は高く、九州、中国、四国、近畿、北陸地方の多くのところで満開となりました。また、この暖かさで7日に仙台で開花し、東北南部からも開花の便りが届きました。今週末には、桜前線は東北北部まで到着し、いよいよ東北地方にも本格的な桜のシーズンがやってきます。

この先1週間の気温は、全国的に平年並みか高いでしょう。週末は気温が上がる場所が多いものの、穏やかな晴れは続かず、雲が広がりやすく雨が降るところもある見込みです。



2017年 桜開花予想前線図

●日本気象協会 長期予報（気温）

気温	4月	5月	～桜開花予想チームのコメント～
北日本	平年並か高い	平年並か高い	4月下旬の北日本は、平年並か高くなります。そのため、東北地方の開花・満開日は、前回予想とほぼ変わらない、または早まる場所があるでしょう。
東日本	平年並か高い	平年並か高い	
西日本	平年並か高い	高い	

(2) 本州の多くの地点で満開！

先週金曜日から週末は全国的に気温が高く、西日本の多くのところで20度を超えました。鳥取などで最高気温が25度以上となり、本州で今年初めて夏日を観測しました。この暖かさで、九州、中国、四国、近畿、北陸地方などで一気に満開となりました。5日に開花した福井では、7日に満開となり、開花から満開までの日数が2日となりました。

11日は全国的に雨や雪となり、気温も低くなりましたが、この先、今週末にかけて気温が上がり、全国的に穏やかな天気ところが多いでしょう。既に開花した東南北部では満開を迎える見込みです。また、東北部や長野県の標高の高いところからまもなく開花の便りが届きそうです。

(3) 桜開花予想のたより (リレートーク)

桜開花予想のたより リレートーク



開花発表直後の松本城の桜の様子です。13日(木)からライトアップも始まります。今週末には見ごろを迎え、見物客で賑わうことでしょう。(4月10日撮影)



日本気象協会
長野支店
気象予報士 浜中 弘樹



仙台市宮城野区榴ヶ岡公園近くの標本木、開花から3日目の朝の様子です。開花は順調に進み、多くの写真愛好家が訪れていました。榴ヶ岡公園はこの他にも梅や枝垂桜などたくさんのお花見客が訪れます。(4月10日撮影)



日本気象協会
東北支局
気象予報士 風晴 陽一郎





別紙

●各地の桜（ソメイヨシノほか）の2017年予想開花日・予想満開日（4月12日発表）

※平年（昨年）差の「-」は平年（昨年）よりも早く、「+」は平年（昨年）よりも遅いことを表します。
 ※平年値や昨年度値は、気象庁・各自治体や名所の値を用い、平年値のない地点は過去の観測データをもとに算出しました。
 ※満開を観測していない地点と過去の観測の記録がない地点は、予想満開日は発表しません。
 ※長野県伊那市（高遠城址公園）はタカトオコヒガンザクラ、北海道稚内市、留萌市、旭川市、網走市、帯広市、釧路市、浦河町、新ひだか町はエゾヤマザクラ、根室市はチシマザクラ、そのほかの各地はソメイヨシノを対象としています。
 ※予想開花日、予想満開日の（ ）はすでに開花や満開になった地点です。

九州地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
福岡県	福岡市	(3月25日)	+2	+6	(4月5日)	+4	+6
大分県	大分市	(4月4日)	+11	+7	4月14日	+11	+6
長崎県	長崎市	(3月30日)	+6	+8	(4月7日)	+4	+8
佐賀県	佐賀市	(3月30日)	+6	+7	(4月8日)	+5	+8
熊本県	熊本市	(4月1日)	+9	+10	(4月8日)	+7	+6
宮崎県	宮崎市	(4月2日)	+9	+9	(4月9日)	+7	+4
宮崎県	都城市（母智丘公園）	(4月1日)	+8	+7	(4月8日)	+8	+5
鹿児島県	鹿児島市	(4月5日)	+10	+9	4月14日	+10	+8
気象予報士 コメント	日本気象協会 九州支社 大分市や鹿児島市で桜の満開がかなり遅くなっています。早く満開を迎えた福岡市などではすでに花が散りつつありますが、それ以外の地域ではもうしばらく遅いお花見を楽しめそうです。						

四国地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
香川県	高松市	(4月2日)	+5	+7	(4月8日)	+3	+4
徳島県	徳島市	(4月3日)	+6	+4	(4月10日)	+5	+2
愛媛県	松山市	(3月30日)	+5	+7	(4月8日)	+4	+5
愛媛県	宇和島市	(3月25日)	+3	+5	(4月4日)	+3	+5
高知県	高知市	(3月29日)	+7	+5	(4月6日)	+7	+4
高知県	宿毛市	(3月28日)	+5	+9	---	---	---
気象予報士 コメント	日本気象協会 四国支店 四国の桜前線は平年より遅い歩みとなりましたが、10日に徳島でも満開を迎え、四国では桜が咲き揃っています。花盛りは過ぎようとしています。もうしばらくは桜舞う中でのお花見を楽しめる場所もあるでしょう。						

中国地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
広島県	広島市	(3月27日)	0	+4	(4月7日)	+3	+5
岡山県	岡山市	(4月1日)	+3	+6	(4月7日)	+1	+6
島根県	松江市	(4月1日)	+1	+9	(4月7日)	-1	+8
鳥取県	鳥取市	(4月2日)	+2	+10	(4月7日)	0	+7
山口県	下関市	(3月29日)	+2	+1	(4月7日)	+2	+4
山口県	岩国市 (錦帯橋・吉香公園)	(3月31日)	+4	+7	(4月7日)	+2	+5
気象予報士 コメント	日本気象協会 中国支店 冬の名残の寒空の下で花開き、それぞれのペースでゆっくりと咲き進んだ中国地方の(平地の)桜は、入学式のころの同じ日に、いっせいに満開になりました。今後は多少競い合いながら、山や丘をそれぞれの個性で桜色に染めていくでしょう。						



近畿地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
大阪府	大阪市	(3月30日)	+2	+7	(4月6日)	+1	+5
滋賀県	彦根市	(4月5日)	+3	+6	(4月9日)	0	+4
京都府	京都市	(3月31日)	+3	+8	(4月7日)	+2	+5
兵庫県	神戸市	(4月3日)	+6	+8	(4月10日)	+5	+7
兵庫県	姫路市(姫路城)	(4月2日)	+4	+9	(4月8日)	+1	+5
奈良県	奈良市	(4月3日)	+5	+11	(4月8日)	+3	+6
和歌山県	和歌山市	(3月30日)	+4	+8	(4月7日)	+3	+7
気象予報士 コメント	<u>日本気象協会 関西支社</u> 近畿各地のソメイヨシノは満開を迎えました。この先、ソメイヨシノは終盤を迎えますが、17日までは造幣局で桜の通り抜けが楽しめます。ちなみに、今年の花は「鬱金(うこん)」という品種です。						

東海地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
愛知県	名古屋	(3月28日)	+2	+9	(4月6日)	+3	+6
静岡県	静岡市	(4月2日)	+8	+6	4月12日	+9	+7
静岡県	浜松市(浜松城公園)	(3月31日)	+4	+3	(4月9日)	+5	+6
岐阜県	岐阜市	(3月28日)	+2	+8	(4月4日)	0	+4
岐阜県	高山市	4月16日	+1	+10	4月20日	0	+7
三重県	津市	(4月3日)	+4	+6	(4月5日)	0	+3
気象予報士 コメント	<u>日本気象協会 中部支社</u> 名古屋周辺を彩ったソメイヨシノは、少しずつ散り始めています。一方、岐阜県飛騨地方では、この先1週間のうちに咲き始め、来週の後半には高山市中心部で見頃を向かえそうです。お花見ができなかった方も、まだまだチャンスがあります。						

関東地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
東京都	東京都心	(3月21日)	-5	0	(4月2日)	-1	+2
東京都	八王子市	(3月28日)	0	+6	---	---	---
茨城県	水戸市	(4月3日)	+1	+6	(4月10日)	+2	+4
栃木県	宇都宮市	(4月3日)	+2	+6	(4月9日)	+1	+5
群馬県	前橋市	(4月2日)	+2	+10	(4月7日)	+1	+6
埼玉県	熊谷市	(3月28日)	-1	+5	(4月7日)	+2	+6
埼玉県	さいたま市 (大宮公園)	(3月22日)	-4	0	---	---	---
千葉県	銚子市	(4月1日)	+1	0	(4月10日)	+2	+4
神奈川県	横浜市	(3月25日)	-1	+2	(4月6日)	+3	+4
神奈川県	小田原市 (小田原城址公園)	(3月24日)	-2	+1	(4月8日)	+5	+4
東京都	八丈島 (八丈植物公園)	(4月10日)	+10	+7	4月15日	+6	+7
気象予報士 コメント	<u>日本気象協会 本社</u> 全国トップで開花した東京の桜から始まり、4月10日に水戸と銚子で満開を迎え、本州の関東地方の観測地点は全て満開となりました。4月10日は、八丈島でもついに開花し、ようやく八丈島にも春がやってきました。						

甲信地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
山梨県	甲府市	(3月30日)	+3	+7	(4月9日)	+6	+6
長野県	長野市	4月13日	0	+10	4月16日	-1	+8
長野県	大町市 (大町山岳博物館)	4月18日	-1	+8	4月23日	+1	+7
長野県	飯山市 (飯山城址公園)	4月15日	-2	+5	---	---	---
長野県	松本市(松本城)	(4月10日)	0	+9	4月14日	-1	+8



長野県	上田市 (上田城跡公園)	(4月8日)	-1	+7	4月12日	-1	+6
長野県	小諸市(懐古園)	4月16日	+1	+8	4月23日	+2	+11
長野県	諏訪市(高島公園)	4月13日	+1	+9	---	---	---
長野県	伊那市 (高遠城址公園)	(4月10日)	-2	+7	4月15日	-2	+7
長野県	飯田市(大宮通り)	(4月6日)	+2	+8	(4月12日)	+3	+10
長野県	飯田市(天竜峡)	(4月5日)	+5	+10	---	---	---
気象予報士 コメント	日本気象協会 長野支店 4月5日の天竜峡を皮切りに、長野県内でも桜の開花前線が歩みを始めました。その後、8日に上田、10日に松本でも花開き、順調に北上中。中部南部を中心に、この週末に見ごろを迎えるところも多い見込みです。						

北陸地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
新潟県	新潟市	(4月8日)	-1	+5	4月13日	-1	+6
新潟県	上越市(高田公園)	(4月6日)	-2	+5	(4月10日)	-3	+4
富山県	富山市	(4月5日)	0	+7	(4月8日)	-2	+7
富山県	高岡市 (高岡古城公園)	(4月6日)	0	+6	(4月9日)	-1	+6
石川県	金沢市	(4月4日)	0	+5	(4月8日)	-2	+4
石川県	輪島市	(4月7日)	-2	+4	---	---	---
福井県	福井市	(4月5日)	+2	+9	(4月7日)	-2	+7
気象予報士 コメント	日本気象協会 新潟支店 観桜会で賑わっている高田公園の桜は10日に満開を迎えました。一時的に花冷えとなっている新潟県内ですが、今週金曜日以降は暖かさが戻り、満開の桜の下、各地でお花見を楽しめそうです。						
	日本気象協会 北陸支店 季節はずれの暖かさで、一気に花が咲き進んだ北陸ですが、満開エリアは標高の高いほうへと広がってきています。今週は、一時的に寒の戻りがあり、その分、桜は長く楽しめそうです。今週末も、桜の名所は各地で賑わいそうです。						

東北地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
宮城県	仙台市	(4月7日)	-4	+6	4月14日	-2	+8
青森県	青森市	4月20日	-4	+3	4月25日	-4	+4
青森県	弘前市(弘前公園)	4月19日	-4	+1	4月25日	-3	+2
青森県	八戸市	4月18日	-5	+2	---	---	---
秋田県	秋田市	4月17日	-1	+3	4月22日	0	+3
秋田県	仙北市 (角館・桧木内川堤)	4月23日	-1	+3	4月28日	0	+5
岩手県	盛岡市	4月17日	-4	+6	4月22日	-3	+4
岩手県	北上市(北上展勝地)	4月17日	-3	+5	4月23日	-3	+3
岩手県	大船渡市	(4月7日)	-7	+5	---	---	---
山形県	山形市	4月14日	-1	+8	4月18日	-1	+8
山形県	酒田市(日和山公園)	(4月9日)	-5	+3	4月14日	-4	0
福島県	福島市	(4月8日)	-1	+9	4月12日	-1	+9
福島県	いわき市(小名浜)	(4月6日)	0	+6	4月12日	0	+3
気象予報士 コメント	日本気象協会 東北支局 4月上旬は平年を上回る暖かさとなった日が多く、桜前線は順調に北上しています。13日頃にかけて、この時期としては強い寒気の影響を受けますが、今週末には太平洋側の南部で満開になるところが多いでしょう。再び暖かくなる14日(金)頃からは東北北部で開花するところが出てきそうです。						



北海道地方	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
北海道	札幌市	5月1日	-2	+6	5月5日	-2	+4
北海道	稚内市	5月12日	-2	-1	5月17日	0	+2
北海道	留萌市	5月6日	-3	+1	5月10日	-3	+1
北海道	旭川市	5月4日	-1	+1	5月6日	-1	+2
北海道	倶知安町	5月7日	-2	+1	5月11日	-2	+3
北海道	網走市	5月11日	0	+3	5月13日	-1	+3
北海道	帯広市	5月2日	-2	+2	5月5日	-2	+2
北海道	釧路市	5月15日	-2	+5	5月19日	-1	+6
北海道	根室市	5月18日	0	+5	5月24日	0	+6
北海道	室蘭市	5月1日	-5	+6	5月6日	-5	+4
北海道	浦河町	5月8日	-2	+5	5月12日	-1	+6
北海道	函館市	4月28日	-2	+4	5月1日	-3	+5
北海道	松前町(松前公園)	4月27日	-1	+5	---	---	---
北海道	新ひだか町 (二十間道路)	5月6日	+1	+8	5月8日	-1	+7
気象予報士 コメント	日本気象協会 北海道支社 札幌もとうとう6日に積雪が無しとなりました。新聞やテレビなどでも報道され、ようやく季節が一区切りついた感じです。北海道の4月の気温は平年並みか平年より高くなる予想です。これにより桜の開花も前回予想よりやや早くなりました。						

【言葉の説明】

- 平年：1981～2010年の平均値
- かなり早い：平年よりも7日以上早い
- 早い：平年よりも3日から6日早い
- 平年並：平年との差が2日以内
- 遅い：平年よりも3日から6日遅い
- かなり遅い：平年よりも7日以上遅い

●日本三大桜 開花予想

	都道府県	地点	予想開花日	平年差(日)	昨年差(日)	予想満開日	平年差(日)	昨年差(日)
三春滝桜	福島県	三春町	4月14日	---	+10	4月18日	---	+8
山高神代桜	山梨県	北杜市	(4月4日)	---	+6	(4月8日)	---	+7
根尾谷淡墨桜	岐阜県	本巣市	(4月4日)	---	+7	(4月11日)	---	+8

※日本三大桜は平年値なし

【日本三大桜について】

日本三大桜は、福島県三春町の「三春滝桜」(ベニシダレザクラ)、山梨県北杜市の「山高神代桜」(エドヒガンザクラ)、岐阜県本巣市の「根尾谷 淡墨桜」(エドヒガンザクラ)を指します。いずれの桜も、大正11年(1922年)に国の天然記念物に指定されています。樹齢が1000年以上で、幹回りが9メートル以上あります。

日本三大桜の開花予想作成にあたり、地元自治体やお寺の住職の方々のご同意を得て、過去の長年にわたる開花日や満開日の観測データを使わせていただき、それぞれの桜の開花日や満開日に関する独自の予測式を作成しました。開花時期には日本気象協会の気象予測を用い、地元自治体やお寺の住職の方々のご協力も得ながら、精度の良い開花予測を提供します。

日本気象協会は企業メッセージ「ハーモナビリティ」の考えのもと、“お天気コンシェルジュ”として、日々の生活に役立つ気象情報や防災情報、四季の変化を楽しむ季節情報などを提供することで、利用者の生活を豊かにする新しい価値を届けていきます。



2017年 桜開花予想に関するよくあるご質問

日本気象協会の桜開花予想について、よくあるご質問をまとめました。

Q1：桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1：第1回は2月8日(水)、第2回は3月1日(水)、以降、3月から4月下旬まで毎週水曜日に発表します。2月中は【〇月〇日頃】として開花時期の傾向を発表し、3月以降は【開花日〇月〇日】【満開日〇月〇日】の形で発表します。

Q2：日本気象協会の開花予想の特徴は？

A2：各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しています。

Q3：開花日・満開日の基準は？

A3：気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で5～6輪以上の花が咲いた状態となった最初の日、満開日は標本木で80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日です。

Q4：予想する地点数は？

A4：2月中に発表する開花時期の傾向は48地点、3月以降に発表する開花日・満開日予想は全国で約90地点を発表します。予想地点約90地点は、各地気象台が観測する標本木53地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる36地点を対象としています。また、昨年から日本三大桜の3地点を加えています。

Q5：日本気象協会の桜開花予想の手法は？

A5：独自手法を用いて開花予想をおこなっています。独自手法とは、花芽(はなめ)の生育過程に大きな影響を与える、秋以降の気温経過に重点を置いた独自の予測式を用いるものです。

2016年の桜開花/満開予想の平均誤差は、開花予想が2.5日、満開予想が2.0日でした。東海・関東地方や北海道の開花直前の気温が予想より高い状態が続き、予想より数日早い開花になったため誤差が生じました。

Q6：開花予想に使うデータは？

A6：①前年秋から予想作業日前までの気温観測値

②予想作業日から開花時期までの気温予測値(当協会ポイント予報および長期予報)を使用しています。桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます(休眠打破)。休眠から覚めたあとは、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。

Q7：長期予報の「北日本」「東日本」「西日本」の区分はどこ？

A7：気象庁が用いる範囲の通りです。北日本には北海道と東北地方、東日本には関東甲信・北陸・東海地方、西日本には近畿・中国・四国・九州北部地方・九州南部が含まれます。

Q8：開花予想はどこで見られる？

A8：日本気象協会のコーポレートサイト(<http://www.jwa.or.jp/>)、ならびに

tenki.jp(<https://tenki.jp/sakura/expectation/>)、でご利用いただけます。tenki.jpでは、開花(満開)の予測だけでなく、3月以降は、全国のお花見ポイントの実況や見どころ情報も提供します。

以上